

## 4000万人の頭痛 147

## 千夜一夜の頭痛物語

片側の眼元がピクピクするけど、これって疲れ目のせい？  
（片側眼瞼痙攣という疾患 中編）

文 清水俊彦

text by Toshiko Shimizu

前編でもお話いたしましたでしたが、片側眼瞼痙攣は神経節に潜在する帯状疱疹ウイルスの再活性化が要因となることもありますが、それ以外の原因として

脳内の器質的な構造上の異常から引き起こされることもあるのです。その主な原因の一つが脳血管の経年性動脈硬化による顔面神経起始部での圧排<sup>あおひ</sup>です。顔面神経は脳幹部から出て、その後内耳孔から顔面神経管という頭蓋骨底部の骨内の小孔を走行し、最終的に顔面の表情筋に分布しています。脳幹部から出て数ミリの部分はミエリン鞘とい

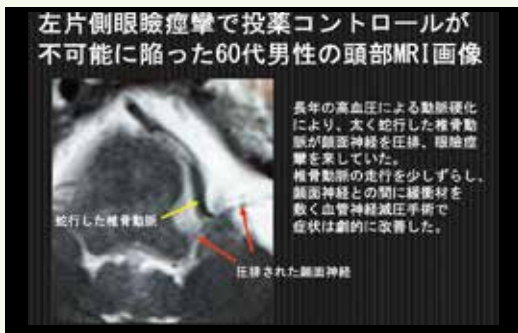
う、いわば電線を保護するビニールカバーの役目をする保護膜がなく、たまたまこの部位で脳血管が神経を圧迫することにより眼瞼痙攣を来すことがあるのです。高血圧を長年放置すると脳血管が動脈硬化により

血管の圧排が原因であった三叉神経痛についてお話いたします。



新刊「ウルトラ図解 おとなと子どもの頭痛」  
監修/清水俊彦  
法研（本体1600円+税）  
2月18日（火）発売

左片側眼瞼痙攣で投薬コントロールが不可能に陥った60代男性の頭部MRI画像



長年の高血圧による動脈硬化により、太く蛇行した椎骨動脈が顔面神経を圧排、眼瞼痙攣を来していた。椎骨動脈の走行を少しずらし、顔面神経との間に緩衝材を敷く血管神経減圧手術で症状は劇的に改善した。

蛇行した椎骨動脈

圧排された顔面神経

う、いわば電線を保護するビニールカバーの役目をする保護膜がなく、たまたまこの部位で脳血管が神経を圧迫することにより眼瞼痙攣を来すことがあるのです。高血圧を長年放置すると脳血管が動脈硬化により

初期の軽度症状には、クロナゼパム（商品名 リポトリール錠）の内服やボツリヌス毒素（商品名 ボトックス注射剤）の顔面表情筋への定期的な注射が有効です。初期は有効性が得られていても、徐々に効果が薄れてきた、また投与量が増える、投与間隔が短縮した際には注意が必要です。神経は長年、局所的に圧排され続けることで、神経細胞が変性し、結果、恒久的に症状と付き合うことになるのです。神経の変性を来してからでは、脳血管の圧排を軽減させるべく行われることの多い微小脳血管神経減圧手術（microvascular decompression [MVD]）を行っても症状の完全な改善が得られないことも多々あるのです。このような症状に悩まれている方は、時機を逃さず外科治療の可能な専門施設を受診されることをお勧めいたします。

次回後編では、このような脳神経の

## Profile

日本脳神経外科学会認定医、日本頭痛学会監事を歴任。日本頭痛学会認定専門医。東京女子医科大学病院脳神経センター頭痛外来客員教授、学校法人東京女子医科大学 評議員、獨協医科大学神経内科学講座臨床准教授、一般社団法人グループケアパートナー理事。

ほかに、汐留シティセンターセントラルクリニック、阿見第一クリニック、小山すぎの木クリニック、伊豆大島医療センターの頭痛外来を担当。昭和61年3月日本医科大学卒業。学会活動をはじめ、NHK「きょうの健康」「クローズアップ現代」など、テレビ出演も多い。『頭痛女子のトリセツ』（マガジンハウス）をはじめ、頭痛関連の著書多数。

